

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		141-01-01	
事務事業名		市民緑化推進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2420	
担当部署名		みどり推進室		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	4	みどり・空間整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	誕生記念植樹申請者、健康まつり来場者、グリーンボックス市民登録団体					
	目的 (どうしたいか)	みどり豊かなうるおいのあるまちづくりを進めることを目的とする。					
	手段 (事業内容)	誕生記念植樹1本(プレート付き)、都市月間PRにおける活動(チューリップ球根の配付)、グリーンボックス市民貸出団体への花苗の配付					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 誕生記念樹購入 189千円 バンジー購入 754千円 花の土購入 103千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	1,500	1,550	1,481		
	事業費	1,396	1,481	—		
決算額	特定財源等	0	0	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	グリーンボックス貸出団体数		単位	団体
指標の説明	街角緑化のためにグリーンボックス(プランター及びハンギングポット)を貸し出している登録団体の数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		105	101	90
実績		105	95	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	グリーンボックス貸出団体への花苗の配付数(枯死植え替え分は含まない)		単位	株
指標の説明	貸出団体への花苗の配付数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		15,000	13,600	11,400
実績		13,600	13,326	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 緑化の推進は、地球温暖化防止やCO2の削減など、国の最重要課題のひとつである。今後においても市民自らの手で緑化推進するためにも必要な事業である。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		141-01-02	
事務事業名		公共緑化推進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2430	
担当部署名		みどり推進室		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	4	みどり・空間整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	公共施設					
	目的 (どうしたいか)	みどり豊かなうるおいのあるまちづくりを進めることを目的とする。					
	手段 (事業内容)	公共施設への花苗及びチューリップ球根の配付し、地域のコミュニティを活性化させ環境美化等を図るものです。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 公共施設花苗購入 950千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	1,070	1,070	1,000	
決算額	事業費	1,070	1,000	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	公共施設登録団体数	単位	団体
指標の説明	花苗等の配布対象となる公共施設及び教育機関の数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	65	65	61
実績	65	65	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	公共施設への花苗配付数	単位	株
指標の説明			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	7,500	7,000	6,000
実績	6,960	7,000	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 緑は、幼稚園、保育園及び小中学校への情操教育に不可欠であり、公共施設の緑化空間の演出に努める。また、職員および市民へのみどりの意識向上を図る。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		141-01-04	
事務事業名		菊花大会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2430	
担当部署名		みどり推進室		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	4	みどり・空間整備		項	4	都市計画費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	菊花の培養並びにその技術の向上、鑑賞市民の情操の融和を図り緑豊かな潤いのある街づくりを進めることを目的とする。					
	手段 (事業内容)	日本を代表する花「菊」を大阪菊花会会員や市民が育てた菊花を羽曳野市民や近畿一円の菊花愛好者に対して披露し展示する。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	150	156	153		
決算額	事業費	0	0	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	菊花大会出展数	単位	展
指標の説明			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	80	0	80
実績	0	0	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	菊花大会来場者数	単位	人
指標の説明			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	3,000	0	5,000
実績	0	0	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 会員の高齢化に伴い、出展数の減少が予想される。多くの市民や福祉施設等の来場者があり緑豊かな潤いのある街づくりに効果がある。令和3年度はコロナ禍のため菊花大会は中止となり、代わりに市役所本館及び陵南の森に菊花を展示した。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 今後、若い人材の育成に力を注いでいかなければならない。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		141-02-01		
事務事業名		みどりの講習会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線2430		
担当部署名		みどり推進室		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		1		快適でうるおいのある 住みよいまち	款	8	土木費
	施策		4		みどり・空間整備	項	4	都市計画費
	施策の方向		1		緑地の保全と緑化の推進	目	3	公園費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		みどりの講習会受講希望者					
	目的 (どうしたいか)		季節にあったテーマを選び自然を知り、緑をふやし育てる心と技術を学習し、講習会を通じて市民自ら緑化推進を図ることにより緑の輪が全市へ広がるきっかけを作る。					
	手段 (事業内容)		季節にあった花苗を選定し、講義や実習を通して身近な家庭園芸から緑化推進を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 教材費 249千円 【特定財源】 みどりの講習会参加費 1,500×62名 93千円 @	
当初予算額	事業費	271	275	249		
決算額	事業費	142	204	—		
	特定財源等	92	93	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	みどりの講習会開催数		単位	講座
指標の説明				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		3	3	3
実績		3	3	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	みどりの講習会参加人数		単位	人
指標の説明				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		120	61	100
実績		61	100	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 令和3年度より、三密を避けるため、参加人数を減らして開催。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容) コロナ禍の中、今後も三密を避け感染防止対策をし開催する。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		141-03-01	
事務事業名		アドプトロード推進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2431	
担当部署名		みどり推進室		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	4	みどり・空間整備		項	2	道路橋梁費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		目	2	道路舗装改良事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	地元小学校・中学校、高鷲駅前を育む会					
	目的 (どうしたいか)	本会は、地域の顔である近鉄南大阪線「高鷲駅」周辺を行政・地域住民を含めた多様な関係者が協働して「美しく魅力あふれる駅前の空間づくり」を行なうとともに、この活動を通じて、地域の和を育み、心豊かな人づくり・笑顔と活気あふれるまちの創造を目指す。					
	手段 (事業内容)	小・中学校に土と花苗を支給し、学校内で育て、育苗後の花を学校緑化及び高鷲駅前に高鷲駅前を育む会とともに定植し、緑化推進を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 花苗 238千円 土・肥料・石灰 135千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	480	480	455		
	事業費	383	450	—		
決算額	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	地元町会及び小・中学生の参加人数	単位	人
指標の説明			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	200	200	200
実績	200	200	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	高鷲駅前周辺のプランター及び花壇への花苗の定植数	単位	株
指標の説明			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	3,000	3,000	3,000
実績	3,000	3,000	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 平成19年度から始まり、令和4年度で16回目を迎え、年2回夏と冬の定植を行っている。夏は羽曳野市、冬は大阪府で行っていたが、令和2年度から大阪府の予算削減のため、羽曳野市単独での予算をしている。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をし、小学生を交えて実施する。